

固定資産台帳(R2.3.31現在)の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものです。

本県の有形固定資産の合計では、取得価額が2兆7,881億円、減価償却累計額が1兆1,415億円、差引きの現在簿価額が1兆6,366億円となっております。

また、現在簿価額のうち、事業用資産が4,599億円、インフラ資産が1兆1,646億円、物品が121億円となっております。

なお、有形固定資産(土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く)の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本県においては48.6%となっております。

(単位:百万円)

	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産	665,747	205,822	459,926
土地	155,980	0	155,980
立木竹	137,951	0	137,951
建物	346,340	192,596	153,744
工作物	21,541	13,225	8,315
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	2,394	0	2,394
その他	0	0	0
建設仮勘定	1,542	0	1,542
インフラ資産	2,094,563	929,965	1,164,599
土地	113,273	0	113,273
建物	26,381	14,689	11,692
工作物	1,933,909	915,276	1,018,634
その他	0	0	0
建設仮勘定	21,000	0	21,000
物品	17,766	5,701	12,065
有形固定資産合計	2,778,076	1,141,487	1,636,589

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合がある。

$$\star \text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}(1,141,487\text{百万円})}{\text{土地・立木竹・建設仮勘定を除く取得価額}(2,348,331\text{百万円})}$$